

名古屋外国語大学論集

第4号

特 集

エアライン

—国際航空産業の構造と今後への展望—

**The Airline Industry:
The Structure of the International Aviation Industry and
Prospects for the Future**

エアラインビジネスは「規制緩和の実験場」とも称される。路線の開設や運賃等が自由化される動きがグローバルに広がった結果、顧客の困り込みを進めるマイルージや格安運賃を実現したLCC（ロー・コスト・キャリア）などのイノベーションが生まれ、国境を越えてエアライン同士が手を組む航空連合を形成する動きもダイナミックに進んだ。グローバルな競争はサービスの向上や運賃の低下などを通じて消費者にメリットをもたらし、世界経済の成長に貢献している。さらに、顧客サービスである「おもてなし」や企業ブランドの在り方を考える上でも多くの示唆に富む。また、本学は多くの卒業生をエアライン業界に輩出しており、働く場としてのエアラインの魅力も見逃せない。こうした点を踏まえエアライン業界についての研究蓄積を進めることは本学にとって有意義であり、本論集4号で特集「エアライン——国際航空産業の構造と今後への展望」を組む機会を与えられことは幸いである。最後に、本特集の実現に奔走して頂いた故西川真子先生に心から御礼を申し上げるとともに哀悼の意を表したい。

世界共生学科

小野展克